



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第34回例会(3月14日)
平成26年3月28日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 真也
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. "ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を"…… Ron D. Burton

2013-2014 年度

地球環境保全ポスター表彰式

受賞者のことば



(左から) 金賞 内海沙樹様・銀賞 木村 凜様
銅賞 奥寺 萌様

●金賞：「とめて、温暖化。」内海沙樹様

今回の、第66回岩手芸術祭・課題部門にて金賞をいただきました事を、とても嬉しく、光栄に思います。

「21世紀の地球環境を考える。」というテーマに沿って、地球温暖化によって、北極の氷が溶けてきている現象をポスターで表現したいと思い、ホッキョクグマをモチーフに、北極を連想させるカラーリングでパターンアート化しました。「百年後には、いなくなるかも。」というキャッチコピーを入れて、絶滅の危機感を主張し過ぎずに、促すようなビジュアルにする事を意識して作成しました。金賞を受賞しました作品の他に、ペンギンとアザラシをモチーフとしたものと含めて3点シリーズの構成になっています。

この春から私の作品が県内に貼られるということで、故郷の大槌町に暮らす両親や県内にいる恩師や友人たちに、デザインを学んで活躍している姿を見てもらえればと思います。

最後になりますが、この度は第66回岩手芸

術祭・課題部門にて金賞をいただき、本当にありがとうございました。



金賞作品

●銀賞：「STOP! 地球温暖化」木村 凜様

今回岩手芸術祭環境部門銀賞という名誉な賞を受賞し、驚きとともに大変嬉しく思っております。改めまして、主催者の方々、関係者の方々に心より御礼申し上げます。

今回賞をいただいた作品は、地球温暖化をテーマに制作したポスターです。これから先、地球温暖化の影響で人類や全ての生命の居場所がなくなり手遅れになってしまう前に、この問題を少しでも多くの人に考えてもらいたいと思います。制作いたしました。

地球温暖化対策の中で、一番大きな課題が二

酸化炭素の排出量の削減だと言われております。震災を体験して不自由なく使用していたエネルギーに限りがあることに気づかされました。私は原子力のことはよく理解できていませんが、地球温暖化の影響は確実に私達人間に影響をおよぼすのではないかと感じております。

この今回の環境ポスターの制作を機に、これからは地球温暖化に対しての意識を共に高め、地球に負荷のかからない生活がおくれたら素晴らしいなと思います。

今回の思いがけない受賞は、私にとって大きな励みになりました。これからも多くの方の心にとまるようなポスターを制作し続けていければと思っています。

●銅賞：「捕食×補色」奥寺 萌様

本日はお招き頂きありがとうございます。この作品のタイトルは「捕食×補色」といいます。この二つのホシヨクは同音異義語となって

おり、生態系の食物連鎖による生物の「捕食」と、色彩用語の色相環上で対称になる「補色」を表しています。

近年、環境破壊によって生態系のバランスが乱れ、特に両生類の数が顕著に減少しています。そのことから、カエル1匹に対する個体数のアンバランスさを表現しました。また、オレンジ色と青色は補色関係にあるので、このはっきりとした配色を取って使うことで生態系の不安定さを表現しました。

今後としましては、私は県内の出版印刷企業に内定を頂き、4月からはそちらで本の中身を編集する仕事に携わっていくこととなります。私自身が主体的にデザインに関わっていくことはほとんど無くなりますが、2年間学校で学んだ経験を糧として、お仕事に勤しんで参りたいと思っています。本日は誠にありがとうございます。



講評

岩手デザイナー協会 会長
村上 由美子 様

こんにちは、岩手デザイナー協会の村上由美子と申します。本日は、環境保全ポスターの表彰式にお招きいただきまして、ありがとうございます。

また、かねてより、当協会の活動に対しましては、様々な御支援をいただきまして、心より厚く御礼申し上げます。この場をお借りしまして感謝の思いをお伝えするとともに、今後とも、変わらぬ御理解と御支援を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

2013年度・第66回岩手芸術祭デザイン部門の環境課題におきまして、応募作品25点の中から、金賞・銀賞・銅賞に輝かれた皆さま、本当におめでとうございます。それぞれの作品につきましては、後ほど講評させていただきたいと思っております。

震災から丸3年が経ちました。皆さまはどのような実感をお持ちでしょうか。ひとそれぞれ思うところや、去来するものは多々あるかと思われま。何が復興なのか、確かなものを求めて、それぞれの立場で試行錯誤は、これから

も続くと思われま。そんな中、昨年の秋、青森の八戸から宮城県気仙沼に至る、三陸地域が「三陸ジオパーク」に指定されたことは、震災からの復興にとって、確かな一歩であると私は受け止めております。ジオとは、大地の意味です。したがって「ジオパーク」とは、大地の様子をリアルに体感できる、地球がもたらしてくれた、壮大なフィールドということになります。そこには、自然、景観、人の暮らし、文化、産業など、その土地にまつわる、すべての要素が結びつきながら、ストーリー性をおびて、私たちに語りかけてきます。マスコミ報道などでご存知とは思いますが、先の大震災の傷跡なども震災遺構として、三陸ジオパークの大きな要素となっています。いわば、そこに存るもの、あるいは起きたことを直視して、何かを学びとる主体であることが私たちひとりひとりに求められています。もちろん、さまざまなお立場で、さまざまなご意見があると思います。地元の人たちとの出会い、地場のものを食べる、何かの行事に参加する、というような取り組みも、広い意味では、三陸ジオパークのこれらにつながることを感じております。そして、そこにあるもの、という意味で風力や太陽光、水力などの資源は使い方次第では、人類の可能性を大きく切り拓く、三陸由来の豊かなエネルギーと言えるでしょう。

とりわけ、福島での原発事故を受けまして、日常生活も含めて、社会の在りようそのものが

大きな転換期を迎えております。これからを考える具体的な事例として、再生エネルギーの可能性は、もっともっと議論されて、しかるべきだと思っております。震災から何をプラスに転化できるかを考える時、こうした意識を広く共有することが必要なのではないのでしょうか。

このような視点で受賞作品を見てみますと、さまざまな自然の要素に対して謙虚であってほしいということ、そして想像力と洞察力、実践力を働かせてみよう、という意味やメッセージが創り手の心の奥底から放たれていることを強く感じます。

はじめに、金賞に輝きました内海沙樹さんの作品[とめて、温暖化。]は、極北の地に生きるシロクマの目線を通して、失われゆく環境への危機感を訴えています。シンプルなパターンで構成された、たくさんのシロクマの顔が、私たちに迫ってきます。この作品を単に、遠く離れた極寒といわれる地域での出来事と考えるか、あるいは、自分たちの日常とつながると考えるか、どちらの受けとめ方をするかで違いは大きくなります。より自分に引きつけて想像力を働かせ、地球全体の未来を考える姿勢を持つことが、環境というテーマでの作品づくりに欠かせないことと思っております。

続きまして、銀賞の木村凜さんの作品[STOP! 地球温暖化]は、燃えて崩れ落ちる地球のリアリティを共有するよう私たちに警告しています。漆黒の宇宙に赤く溶ける様が、見る側に恐怖感を定着させています。何が起きてもおかしくはない、自然と人間との関係性を危惧する心理が、多分に働いているかのように思えてなりません。つまり、そうならないよう、できる時に、できる事を、みんなの総意で実行する大切さを強く訴えています。

銅賞の奥寺萌さんの作品[捕食×補色]は、文字通り、つかまえて食べる捕食と色彩の反対色である補色とをにかけていますが、人間こそが自然界の営みと共棲関係にあることを示唆しています。人間が自然界の頂点に君臨するとか、自然界を意のままにコントロールできるとか、思い上がった姿勢ではなく、生命の連鎖の中で生きてこそ、人間なのだという原点を再認識させられる作品となっています。

審査をさせていただきますと、改めて、自分自身への警句を込めて、いろいろと考える機会が増えてまいります。自分が、地元が、岩手が、日本が、と考えた時、その先には、この地球が生きていけるか否かという想像力なしには、日常生活もデザインも、ましてや、経済活動もままならないという現実を、じっくりと考えていきたいものです。

ご紹介させていただきましたように、岩手のデザイン界ではベテランはもとより、学生さんや、若い世代の方々の台頭も顕著になってきていると感じています。これからどんな才能が花開き、どんな作品が生み出されていくのか。皆さまからも、大いに関心を寄せていただければと思っております。

1964年東京オリンピックの年に設立されました岩手デザイナー協会は、おかげさまで今年50周年を迎えることができました。6月には岩手県民会館にて50年展開催を予定しております。近くなりましたら改めてご案内をさせていただきますと思っております。ご高覧いただければ幸いです。

そして、これからも岩手デザイナー協会への御理解・御支援を重ねて、お願い申し上げます。本日は、おいしいお弁当と御清聴をありがとうございました。

仙台支部だより

元気です、仙台支部！

遅ればせながら、盛岡 RC 創立 75 周年、誠にありがとうございます。

当仙台支部からは、現役でご活躍の方々が多いため、元幹事の風間様が代表しての参加となりました。

そこで、第 4 回目となりました仙台支部の会合は、記念式典の 3 日後に、当日、参加できなかった面々が集まり、参加された風間忠男さん（清水建設）からの報告を聞きながら、盛岡 RC 会員時代の各々の活動を懐かしみつつ、盛り上がる予定でした。しかし、残念ながら風間さんが仕事の関係から直前での不参加となり、また、他に 2 名の方も身内での不幸等があり、結局 5 名での会合となりましたが、今回も盛岡での充実した日々と現況報告で楽しいひとときを過ごすことができました。

そこで、今回は、現況を兼ね参加された皆様の元気な様子をご紹介します。

初めに涌沢光春さん（東北電力）です。現在も登山を趣味しておられ、過日、登山した福島での様子を楽しそうに話されていました。そのとき、ちょっと怪我をされたそうですが、今は怪我も癒え、次の登山に向けて元気一杯です。

次に、木村敬一さん（ユアテック）です。これまで町内会活動や趣味のヨットでの行動と、忙しい毎日を過ごされていますが、さらに 4 月からは家庭裁判所で

の調停委員も引き受けられ、ますます元気です。

続いて後藤道也さん（鹿島建設）は、岩手県での震災に関する仕事が増え過ぎ、盛岡入りの回数が多くなり、そのため、大好きな酒の量・回数は減っているそうです。

そして、権井一意さん（東北電力）。某テレビ局の震災関連番組「あの日あの時」の放送で、震災当時、全従業員を避難させた様子が紹介され、多くの方々から賞賛を受けています。

最後に、筆者（NHK）は、相変わらず気楽に過ごしています。

なお、今回欠席でしたが、佐尾玄さん（東北電力）は、現在、故郷（秋田）での陶芸に忙しい日々を過ごしていますが、元気に雪かきに精を出しているとのこと。

※カッコ内は在籍時勤務先 文責 小松敬一



左より 木村・後藤・涌沢・権井・小松

例会報告

第 34 回例会
平成 26 年 3 月 14 日(金)

- 於 川徳 12 時 30 分 開会点鐘
- ・司会 平井 滋会長
- ・ソング 我らの生業
- ・四つのテスト斉唱
- ・会長報告 平井 滋会長
- ・新入会員紹介 勝 雅行会員 東野建設工業(株) 専務執行役員
紹介者：近藤 駿会員
- ・ゲスト 村上由美子様（岩手デザイナー協会 会長）、内海紗樹様（環境保全ポスター金賞受賞者）、木村 凜様（同銀賞受賞者）、奥寺 萌様（同銅賞受賞者）。
- ・皆出席パッチ 佐藤重昭君(3年)。
- ・誕生祝 竹中陽一・佐藤重昭・加藤正幸君。
- ・結婚祝 千葉隆史君。
- ・幹事報告 平野佳則幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- ◆盛岡西 R.C. = 3 月 27 日(木)は、18:30~「じよ居」。盛岡東 R.C. = 3 月 17 日(月)は、通常夜例会 18:30~「鹿角屋」会場変更。3 月 31 日(月)は、オーストラリア野球関係者との懇親会のため 18:30~時間変更。盛岡中央 R.C. = 3 月 18 日(火)は、通常夜例会 職場訪問例会のため 12:00~大慈寺。

【ニコニコ BOX】

- ◆近藤 駿君…勝さんの再入会をご承認下さりありがとうございました。会員増強担当としてはまだまだ多くの方に入会していただきたいので、皆様のご協力よろしくお願います。イスはまだ増やせますので遠慮なくご紹介下さい。
- ◆長野隆行君…勝さんの再入会を心待ちにしていました。大歓迎です。
- ◆岩野法光君…勝さんの再入会を歓迎します。

◆駒木 進君…勝さんの再入会を心より歓迎いたします。最初の入会は平成 7 年 4 月で私と一緒にでした。懐かしく思われます。早退をお許し下さい。

◆千葉隆史君…1. 環境保全ポスター受賞の皆様おめでとうございます。また岩手デザイナー協会会長村上由美子様ありがとうございました。2. 先程結婚記念日のお祝いを頂戴いたしました。15 年前結婚披露の際に、お世話をいただきましたのが、当時グランドホテルにいらした勝雅行さんです。勝さんの再入会を心より歓迎しニコニコ致します。

◆佐藤重昭君…誕生月と、だいぶご無沙汰しておりましたのでニコニコ致します。

●メーキャップ
盛岡北 R.C. = 吉田(育)・田中君。
盛岡西北 R.C. = 佐藤(重)君。
クラブ委員会 = 福井君。

出席報告 会員数 / 70 名 出席数 / 47 名 出席率 / 69.12% 前々回修正出席率 / 74.24%

プログラムの
お知らせ ・ 3 月 21 日(金) 祝日休会（春分の日）
28 日(金) ゲスト卓話 森 義真様「石川啄木と盛岡」

●本号編集担当 / 金子 真也
●次号編集担当 / 大見山俊雄